

MITSUBISHI

気流Express

気流エクスプレスは、気流応用商品のさまざまな納入事例とご採用のポイントをご紹介します。“気流”の専門(Expert)誌(Press)です。

vol.11

光と風の村
ゆうゆうのもり幼保園 様
エア―搬送ファン 7台



横浜市都筑区に2005年4月、新しい子供施設『ゆうゆうのもり幼保園』ができました。ここは横浜市の「よこはま子育て支援計画」の一環としてできた、幼稚園と保育園の機能を一体化した、横浜市内で初めての幼保園です。「子ども主義の保育」が運営方針で、子供がたくましく健やかに育つと共に子育てを通して大人も成長する、新たな地域コミュニティの場として横浜市の期待は大きいです。三菱電機(株)は、このゆうゆうのもり幼保園に涼風用途として**エア―搬送ファン 7台**を納入。子供たちがのびのびと成長できる環境作りには貢献しています。



こどもたちに “風”を感じてほしい。

ここがポイント
設計者様に伺いました!

“気流”を体感できますね。



〈建築設計ご担当〉
環境デザイン研究所
浅井 様



〈設備設計ご担当〉
株式会社日永設計
西原 様

エア―搬送ファンを設置した目的は、とにかく子供たちに**いっぱい気流を感じてほしい**という気持ちからです。また、それに付随するものとして、部屋の**サーキュレーション効果**と**トップライト部の結露防止効果**を図りました。



設計の段階で施主様とお話をするときに、「一定の空調で良いのか?」という話が出たことがありました。先生方は「室内に暑いところ、寒いところがあってもかまわない」とおっしゃられました。要するに、**子供たちに違いを感じてほしい**ということです。外にいるとき、日向と日陰では感じ方が違うように、建物の中でも“空調ゾーン”や“気流ゾーン”をあえて作って、子供たちにその違いを体感してほしいからです。

エア―搬送ファンは**風の到達距離**も丁度良く、まさにその希望を叶えるのに最適な機種でした。

やはり、子供たちのための建物ですから、子供たちに気流を感じてもらうことが一番でした。その面で、エア―搬送ファンは**評価できる**と思います。



エア―搬送ファン

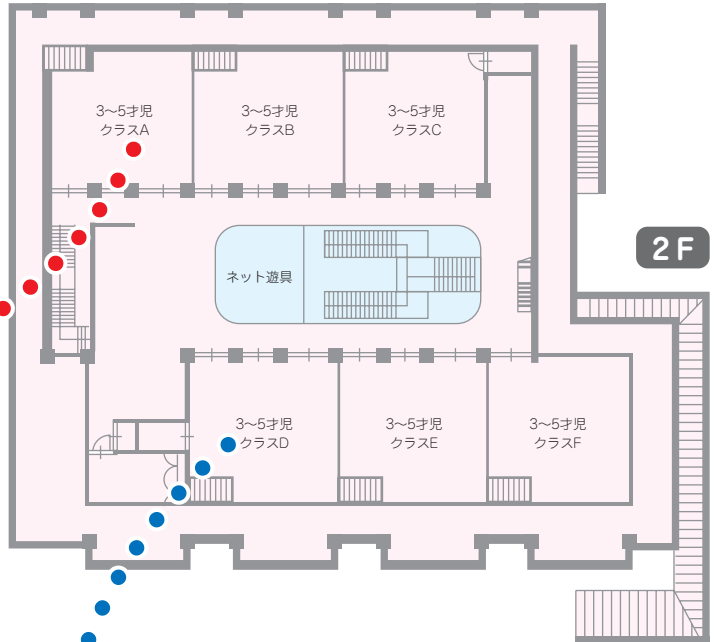
ご採用のポイント

- 園内をより**自然に近い環境**にする
- **サーキュレーション効果**
- **トップライトの結露防止効果**

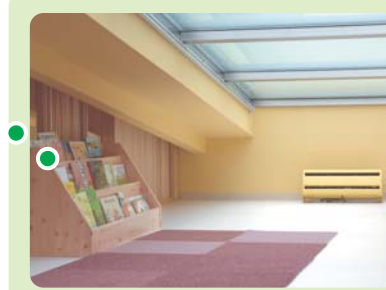
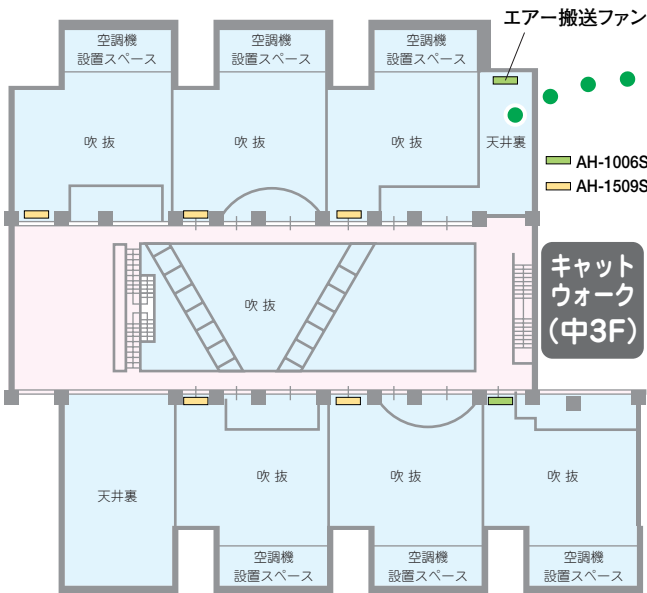
“大人がみてもおもしろい” しかけがいっぱいのゆうゆうの森幼保園！

子供が喜びそうなしかけがいっぱいあるゆうゆうの森幼保園の建物。2階吹き抜け部分一面にネットが張ってあり、建物の中にながらアスレチック気分になれるネット遊具（表紙写真）があったり、2階の上には子供の背丈ほどしかないキャットウォークがある。3才～5才児の教室には直接キャットウォークに行ける狭い階段があり、登っていくときは子供しか入れない秘密基地へ向かう気分になりそう。大人から見てもうらやましい、子供の好奇心を刺激する楽しそうな幼保園だ。

3才～5才児の教室には、エア－搬送ファンと空調機がそれぞれ入っています。室内はエア－搬送ファンの風を感じる“気流ゾーン”と、空調を感じる“空調ゾーン”に分かれており、子供たちは違った気流を肌で感じ、学びながら成長していきます。



3才～5才児の教室。子供たちが元気に遊ぶその上には、キャットウォークが飛び出している。子供一人分の幅しかないはしご階段を上る気分はまさに“秘密基地ごっこ”!



天井裏の一室。子供の背丈ほどの部屋だが天井は一面あかり取りのガラス張りになっていて、縦長の細長いスペースとなっている。床面に設置されているエア－搬送ファンを運転すれば、ライン状の気流が子供の頭の上あたりを通り、あかり取りのガラスを結露から守ると同時に、子供たちが感じる風が室内いっぱい広がる。

スイッチ類はまとめて一か所に設置。エア－搬送ファンをワイヤレスリモコンユニット (P-01WRT) で運転しています。



ご採用データ

機種名	台数
エア－搬送ファン : AH-1006S (単相100V)	2台
エア－搬送ファン : AH-1509S (単相100V)	5台

延べ床面積: 1,404m²

